

まつうら 市議会だより

第74号

令和7年8月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話 (0956) 72-1111

令和7年度一般会計補正予算2億3533万6千円可決

福島地域複合機能庁舎整備事業や地域医療介護総合確保事業等が
計上されました。

6月
定例会



九電ラグビー選手との
タグラグビー交流
(調川小学校) (6月18日)



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和7年 6月定例会

令和7年6月定例会を、6月13日(金)から6月25日(金)までの13日間で開催しました。

今回の定例会では、松浦市税条例の一部改正などの条例6件、令和7年度各会計補正予算9件、その他の議案7件、議員提出案件1件、請願1件の計24件が上程され、最終日には、一般会計補正予算1件、その他の議案1件が追加上程されました。

上程された26議案について、25件を原案のとおり可決、承認し、請願1件については継続審査としました。

(※議案等の審議結果については、11ページから掲載)

会期日程

6月

13日(金)

本会議

▽会期の決定

▽会議録署名議員の指名

▽議長の報告

▽市長の市政概況報告

▽市長提出案件の上程・説明・審議

▽市長提出の諸事項報告

▽議員提出案件の上程・説明・審議

▽請願・陳情の受理報告

14日(土)・15日(日)

休会

16日(月)・17日(火)

本会議

▽一般質問

▽市長提出案件および請願の
主管委員会付託

主管委員会付託

18日(水)・20日(金)

委員会

21日(土)・24日(火)

休会

25日(水)

本会議

▽主管委員会付託案件の審査
報告・採決

▽市長提出案件の追加上程・

説明・審議

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)としています。

今定例会では、6月16・17日の2日間で8人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



↑
会議録はこちらからもご覧いただけます。(6月定例会の会議録は9月定例会前に公開予定)

議会は

インターネット中継でも

ご覧いただけます。

次の市議会定例会は

9月です。

松浦市公式ホームページで生放送します。パソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。また、ホームページでは録画映像の視聴もできます。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



↑
録画映像はこちらからもご覧いただけます。

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

Tel(0956)72-1111

一般質問



大橋 議員

○市民が安心してお米が食べられる
米農家政策について

質 今福地区で生産されるお米に関しては地区指定米としての取り扱いが行われていると伺っていますが、どのようなものかお聞かせください。

農林課長 地区指定米は、JA経由で生活協同組合に出荷されている米で、化学肥料や農薬を決められた種類や量の範囲内で栽培された米のことをいいます。昨年は玄米30キログラム当たり150円の上乗せで出荷されていると伺っております。

質 米農家が生産される米、それを市民に食してもらうために、JAに協力してもらって確保してもらう。それに対し、地区指定米の加算金を30キログラム当たり500円ないし1000円上乗せして、JAを通じて出してもらう。まちの精米所で精米できるのが理想ですが、公設民営の精米所をつくるなど、全国にはまだ例がない取り組みということ、生産自治体である本市でぜひ取り組んでいただきたいと考えておりますけれども、市長のお考えをお聞かせください。

ださい。

市長 米の流通システムに関わっていただける方が市内の精米業者等におられれば、本市としても対応できないか検討したいと思います。

○志佐漁港水産種苗生産施設用地活用について

質 西九州自動車道も平戸インターが開通します。産学官一体となった志佐漁港用地活用プロジェクトを早速に立ち上げて、民間にハンドルを握らせてください。魚市も海のふろさと館もそうしてきて今があるはずです。今後の取り組みについてお考えをお聞かせください。

市長 志佐漁港種苗生産用地の活用については、民間事業者による活用を前提としたサウンディング調査を実施し、その中で、一部市による事業化を含む提案があり、サウンディングでの提案を実現するためには、関係者と一体となって取り組んでいくことは重要であり、市、サウンディング提案者、用地隣接者の三者間での協議を早急に進めていきたいと考えています。志佐漁港種苗生産用地をどう生かすかが重要な問題であると充分承知していますので、これまでの提案の中身をどう進めていくのかを含め、取り組んでいただきたいと思っています。

一般質問



田中 議員

○赤潮対策について

質 昨年7月に発生した伊万里湾における赤潮の発生状況および被害状況についてお尋ねします。

水産課長 令和6年7月の赤潮の発生状況は、7月1日に伊万里湾口部の魚固島の地先で2細胞が確認され、7月11日には星鹿地先で最高となる95細胞を記録しました。被害状況については、ブリ、ヒラマサ、マグロなどの魚種で、被害数が約7万4千尾、被害金額が5億7千万円となっております。

質 足し網が赤潮被害を低減する効果があるということで、養殖業者の方々へ推進していく必要があると思いますが、考え方をお尋ねします。

水産課長 足し網の導入で、いけすの養殖魚が有害プランクトンの少ないところへ逃げることが可能となり、生存する確率が上がることが期待されます。他の海域において、足し網による効果が確認されており、本市としても、赤潮被害軽減につながるものとして、新松浦漁協を通じて養殖業者に対し、足し網等を導入するよう働きかけを行っています。

質 今後の赤潮対策について、総括

的な考え方について伺います。

市長 これまで長崎県知事および県議会議員長に対し伊万里湾における赤潮対策について要望を重ねてきました。養殖現場においては、長期間の赤潮の監視調査や防除剤散布などに多大な労力と費用を要しており、赤潮発生後の対策だけでなく、発生を抑制する対策が強く望まれています。これまでは被害を受けられた養殖業者の救済を目的として支援を行ってきましたが、今後は、可能な限り赤潮被害を受けない、軽減するための支援に力を入れていきたいと考えています。

○佐賀県道筒井万賀里川線の現状について

質 全国原子力発電所所在市町村協議会の首長からも、避難道路の整備や防護施設の維持管理に必要な財政支援等の要望があることを踏まえ、今後国に対し、どのような行動を取られ、避難道路整備等の必要性を訴えていかれるのか伺います。

市長 国、県への要望活動の際にも、原子力災害時の緊急避難道路である佐賀県道筒井万賀里川線の改良促進を図るよう求めました。今後も、関係自治体と連携し、市民の安全性の確保と不安や負担軽減のため、原子力災害対策の進捗を図るよう国へ強く要望していきます。

一般質問

水 志
議員

○新スマート物流プロジェクト事業を断念された背景と今後の取り組みについて

【質】新スマート物流プロジェクトが廃止された具体的な理由と、その判断に至る経緯を伺います。

【政策企画課長】ドローンを活用した新スマート物流事業の実現を図るために、離島への自動運転による採算を民間の配送業者による共同配送で補う想定であったが、令和6年度事業で実施した配送業者のヒアリング調査では、そのニーズや意向がないことが分かり、実際の共同配送体制の構築には至りませんでした。

【質】当初の予算計上の段階で、事業化の見通しが甘く、事業着手に向けた情報収集などの準備や調整が不足していたと思うが、どのように評価をされているのか伺います。

【政策企画課長】ドローンという先進技術の活用と、共同配送により省力化を図ることができるこの事業は、配送困難地域の輸送を継続していくために取り組むべき施策と考えていました。事業実施については、先進的な取り組みで、実現が難しいからこそ、デジタル田園都市国家構想推進

交付金が適用され、交付税措置と併せ、市の費用を極力抑え取り組むことができました。事業継続には至りませんでした。独自の状況分析や事業実施の足掛かりとなり、将来につながる取り組みになったと考えています。

【質】ドローン事業に代わる具体的な施策を講じる計画があるのか、また、ドローン物流事業について、今後新たな検討を行う考えがあるのか伺います。

【政策企画課長】ドローンを活用した物流事業を実施することは難しく、その利活用を図ることができると判断できたときに新たな検討を行うこととしていきます。また、今回の知見を生かし、災害対応、農業、水産業、文化財事業等において、先進技術のドローンをどう活用していくか、考えていくこととしています。

【質】行政として事業を立案し進める中で、簡単に断念されることはあつてはならない。事業熟度が完全ではなかったと言わざるを得ません。この一連の事業の進め方と今回の断念に至った判断について、どのように責任を感じておられるのか、お答えください。

【市長】実施した事業において、機体の性能が本市では課題があることが分かったため事業中止を決断したものであり、決して無駄になったという認識は持っていません。

一般質問

武 田
議員

○「ながさきピース文化祭2025」開催に向けた本市の取り組み状況について

【質】国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭を一体的に開催する意義、恒久的な取り組みの必要性についての見解をお聞かせください。

【福祉事務所長】一体的に開催することで、障害の有無に関わらず、国民の参加や鑑賞機会の充実が図られ、社会の一体感をより高める役割を果たすものと考えています。

【質】文化祭後の予定、具体的な事業名等についてお尋ねします。

【福祉事務所長】具体的なものは考えていませんが、障害のある方々の作品の展示を市民文化祭と一体的に開催していきたいと考えています。

【質】まつうら郷土芸能共演会について、演目をお尋ねします。

【生涯学習課長】御厨蛇踊り、松山田浮立、奉納演舞和一処、流鏑馬、松浦龍王太鼓、村上三絃道由梨世会の三味線、肥前福島玄蕃太鼓、民話の語り、長野県木曾町の木曾節、モンゴル国ホジルト郡の馬頭琴の披露などを予定しています。

【質】御厨蛇踊り保存会のこれまでの

活動に対する評価をお聞かせください。

【市長】御厨地域の皆さんがまちおこしのために続けてこられた伝統芸能だと認識しています。

【質】郷土芸能共演会と同日にアジワイフェスタを開催予定ですが、本市における経済波及効果をどのように想定していますか。

【文化観光課長】一定の経済波及効果は期待できると想定していますが、経済波及効果額の算出は予定しておりません。

【質】戦後80年、原爆投下から80年の節目の本年、平和の大切さを発信できる児童生徒の育成の必要性についてお聞かせください。

【教育長】学校では話し合いで合意形成を図る体験や学びを重ねることが大事だと指導しており、平和の大切さを発信できる児童生徒の育成の基盤になると考えています。

【質】「ながさきピース文化祭2025」開催の意義と成果についての考え方と御厨蛇踊り保存会に対する支援策についてお尋ねします。

【市長】文化芸術を通じて、市民の方々に地域の魅力と伝統文化の継承とその歴史を紡ぐ主人公であるということを再認識していただくことが大切だと考えています。御厨蛇踊り保存会へは、どのような支援ができるか考えながら、継続可能な取り組みを行いたいと思っています。

一般質問



金井田
議員

○松浦市の漁業「じち網漁」の規制緩和について

質 ごち網漁とは、袋状の網の端に付けた綱を引き、魚を網の中に追い込む、主にタイを捕獲する漁法です。現在、新松浦漁協のごち網漁者数は、23業者ほどと伺っています。近年の漁獲高の推移についてお尋ねします。

水産課長 新松浦漁協の業務報告書によると、水揚げ数量（水揚げ金額）は、令和元年度978・3トン（4億2573万円）、令和2年度970トン（3億8835万円）、令和3年度782・3トン（3億3527万円）、令和4年度949・2トン（4億9349万円）、令和5年度714・6トン（4億4698万円）、令和6年度660・8トン（4億1264万円）となっています。

質 漁具の規模が半世紀以上変わっていないため、期待する漁ができず、また燃料費の高騰も重なり、漁業に魅力を感じられず、後継者の育成もままならない状態となっています。これからの松浦市を担う若手漁業者のためにも、松浦市と新松浦漁協が連

携し、県に訴える必要があると考えますが、見解をお尋ねします。

市長 ごち網漁は本市としても重要な漁業の一つと考えており、機器の導入を支援しています。また、重要な漁獲魚種であるマダイについては、種苗の購入費の一部を毎年負担しています。県への要望については、漁業者や新松浦漁協で内容を整理していただき、要望に市も随行するなど連携していきたいと考えています。

○農業関連のパイロット事業で整備した道路の管理状況について

質 パイロット事業の概要についてお尋ねします。

農林課長 農業経営規模の拡大による自立経営の育成と大規模モデル農業経営の創出を目的とした開拓事業で、本市においては昭和40年ごろに、土地改良法に基づく開墾や農道整備が県営事業で実施されています。

質 パイロット事業で整備された道路の維持管理はどうされているのか、お尋ねします。

農林課長 これまで同様に地域で管理していただき、災害以外で道路機能の維持作業を行う場合には、必要な諸費用の一部を支援する市民協働まちづくり事業を活用していただければと考えています。

一般質問



川下
議員

○路線バス廃止または減便による影響の把握と今後の対応、対策について

質 路線バス廃止による変化を前向きに捉え、その利点を最大限に活用するためにも、速やかな全体的な乗合バスのエリア再設定が不可欠であると考えますが、市の考えをお聞かせください。

産業振興課長 地域の代表者や関係団体、交通事業者、行政機関で構成される松浦市地域公共交通活性化協議会において、松浦市地域公共交通計画に基づく議論や課題の共有等を行っているところであり、引き続き検討を行っていききたいと考えています。

質 現在の公共交通サービスをどのように維持・発展させていくお考えなのか、また、公共ライドシェアのような新たな選択肢の導入についても検討されているのかを含め、松浦市の未来の公共交通に関して、どのようなビジョンを描いておられるのか、お聞かせください。

市長 現状のまま本市の地域公共交通サービスを維持していくことには限界があり、抜本的な見直しが必要であると考えます。現在の松浦市に

とって、どのような交通モードが最適か、将来にわたり持続的な公共サービスが可能かを検討しなければならず、来年度中に次期松浦市地域公共交通計画の策定作業を進めることとしていることから、ライドシェアについても検討した上で、計画に反映させていきたいと考えています。

○和牛繁殖経営の現状と地域農業の持続可能性に向けた本市の取り組みについて

質 和牛繁殖の一貫経営へのチャレンジに対する相談支援の体制整備、および県助成事業への市独自の「上乘せ」支援といった公的支援の必要性について、どのようにお考えか、お聞かせください。

農林課長 和牛繁殖農家の所得向上につながる施策として、肥育や加工などの6次化に取り組む農家への支援ができないか、農家の方々の意見も伺いながら検討していききたいと考えています。

質 市民の和牛消費を促進するための一環として、和牛クーポン券の本市独自の発行について、導入の可能性、効果、その他の有効な方策について、どのように検討されているのか、お聞かせください。

農林課長 今後予定している市のプレミアム付き商品券や県の長崎和牛消費拡大キャンペーンなどを活用していただきたいと考えています。

一般質問

和田
議員

○松浦市の医療体制について

質 市が誘致した松浦中央病院の医師の確保について、どのような具体的施策を講じるのか、お尋ねします。

市長 松浦中央病院の医師の確保に係る支援については、令和3年度から5年度まで佐賀大学に奨学寄付を行いました。また、長崎大学、佐賀大学および長崎県庁、県の関連機関に、病院の方々と向き、医師の派遣依頼を行っており、今後も継続する必要がありますと考えています。さらに、国や県の医師および研修医派遣の制度が利用可能であるか、県や病院と連携し検討を行っています。また病院の医師確保に関する取り組みに対して、市としてどのような支援ができるのか、県や病院と協議をしつつ、具体的な施策を講じたいと考えています。

質 市内医療機関の新規開業・事業承継について、具体的な施策を講じる考えはないか、市長にお尋ねします。

市長 新規開業・事業承継については、後継者不足等のため、やむを得ず病院等が廃業となった場合、市民はもとより、そこで勤務される職

員、さらには地域の医療体制に大きな影響を与えることから、重要であり、かつ、困難な課題であると認識しています。支援策については、地域への経済効果と共に地域の医療資源を継続的に確保していくという観点から検討する必要がある、まずは地域医療を所管する県と連携を取りつつ、地元の医師会との協議を踏まえて、有効な支援策を検討していきたいと考えています。

質 他自治体では組織として一体的な支援体制を整備しているところもあるようです。本市においてもそのような組織体制の整備が必要と考えますが、市長の考えをお尋ねします。

市長 本市の高齢者の医療に関する協力体制については、地域包括支援センターに医療介護連携コーディネートーターを配置し、在宅医療介護に関する市民からの相談や、市内外の医療機関とのさまざまな調整を行っています。また、医療機関の連携強化に努めており、本市でも平成29年度に松浦市在宅医療介護連絡協議会を立ち上げ、主に市内医療機関における在宅医療に関する課題に関して協議を行っているところです。組織体制の見直しについては、今後も状況の変化などに伴い実施していきたいと考えています。

このほか、「志佐小学校屋内運動場改築について」を質問しました。

一般質問

立
鈴
議員

○志佐川はもとより市内河川の生態系の現状と本来の河川の实情について

質 川には多くの生物が生息しているが、近年護岸の大部分は目詰工法のため、水中生物は隠れる場所が無いため多くが捕食されている。毎回アユの放流に多額の費用を支出しているが、結果的には川鵜の餌になっている。アユが泳いでいるのを見たことがない。河川を管轄している県に対し、川の生物に限りなく寄り添った河川工法を再度認識されるよう強く申し出ていただきたい。水面域は自然石を用いて、隠れ場を作り、魚が回避する住環境でなければと思うが、どうお考えか。

建設課長 河川整備については、環境に配慮した形で整備がされています。例えば、ブロック等も環境に配慮したタイプを使ったり、河床は全面コンクリートではなく、現地に存在する自然石を利用したり、また、床掘りで発生した土砂等で埋め戻しをして、なるべく環境になじむような形で整備がされている状況です。議員ご指摘の親水公園などを含む河川整備を早期に実現できるよう県に

も伝えていきたいと思っています。

○上志佐小学校の特認校としての今後について

質 特認校制度について、先進自治体において研修を深めた。生まれながら人前で非常に緊張する子、大勢の中に溶け込むことができない子どもを校区を廃して、市内全域から特認校に登校ができて、中学校生活では見違える程精神的緊張は解消され活気溢れる学校生活を過ごせる子ども育成を目指す制度であるが、上志佐小学校における特認校制度について伺いたい。

教育長 令和6年2月に上志佐小学校特別転入学要綱を一部改正し、市内どこからでも上志佐小学校を選択できるようにしました。特認校の目的は、自然環境に恵まれた小規模校としての特性を生かした上志佐小学校での教育を受けたい、受けさせたい場合に、そこでの教育を受けることができるようにすることです。また、人数が増えることでの複式学級の解消も期待しています。

今後さらに力を入れていくこととしては広報活動で、市報等での周知、各家庭へのチラシの配布、就学時健診での説明などを行っています。また、市ホームページから上志佐小学校のホームページへのリンクを貼り、学校の取り組みの様子を閲覧できるようにしています。

常任委員会の審査概要

総務建設農水委員会

【議案】令和7年度松浦市一般会計補正予算(第1号)(関係分)について

○福島地域複合機能庁舎整備事業に1億2238万4千円が計上されました。福島支所庁舎、公民館、消防出張所の複合庁舎建設に係る地質調査、設計業務の業務委託に必要な予算計上であり、妥当と認めました。

なお、全体的なスケジュールとしては、当初予算で発注済みの地形測量が10月末までに完了予定であり、その後に住民説明会等を実施し、来年の9月ごろに基本計画を完成させ、各機能の配置等を決定した上で実施計画を行い、新築工事の開始を令和8年度とし、令和10年度末までに完成させたいとのことでした。

○デジタル田園都市国家構想交付金事業費から4500万円が減額されました。ドローンを活用した共同配送による新たなシステムの構築を図るとともに、市外需要の獲得を推進するとし、令和7年度当初予算に、新スマート物流プロジェクト事業の業務委託料として計上されましたが、

令和6年度の実績を精査した結果、ドローン配送の拠点や災害時のルート確保では、一定の成果が得られたものの、現時点では法制面や技術面において採算性や実現性に関する課題が多いため、令和6年度をもって本事業を終了することに伴い、全額を減額することとした。

この事業は、令和6年度に既に5千万円が投じられており、3月定例会での令和7年度当初予算の審議においても厳しい議論が重ねられ、安易に予算化を認めたものではありません。しかしながら、その後わずか1カ月で事業断念が決定され、今回の予算減額に至ったことは、予算計上に際し、慎重さを欠いた結果であり、多額の税金を使っているという認識がないのではないかと、この厳しい意見や、今回のことを今後どのように生かしていくのかとの質問に対し、担当課からは、厳しいご意見を真摯に受け止め、今回の取り組みで分かったことを踏まえ、買い物難民対策や災害時等の対策について検討していきたいとの答弁がありました。

文教厚生産業委員会

【議案】松浦市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について

○一般廃棄物の適正な処理が、継続的かつ安定的に実施できるよう、し尿処理手数料を改定することに伴い、条例の一部を改正するものであり、妥当と認めました。し尿の収集運搬に要する経費やその上昇率、人口減少に伴う、し尿収集量の減少率、下水道および合併処理浄化槽の設置率など現状の把握を行い、市民の急激な負担の増も考慮し、現行の手数料を令和7年10月から、18リットルごとに20円増額することとした。

【議案】令和7年度松浦市一般会計補正予算(第1号)(関係分)について

○高齢者のスポーツ推進のため、30周年を迎える松浦市グラウンド・ゴルフ協会への報償費として12万9千円計上され、事業実施に必要な経費であり、妥当と認めました。この経費については、他の高齢者スポーツ団体との整合性はとれているのかとの意見が出ましたが、今後、30年を基準とし検討したいとの説明がありました。



○不老山総合公園と鷹島モンゴル公園のリニューアルオープン等に向けての修繕費、手数料として、537万1千円計上され、事業実施に必要な経費であり、妥当と認めました。

○地場企業が生産効率の向上に資する設備投資を行い、かつ設備投資完了から1年経過後に雇用が維持または増加した場合に補助の対象とする松浦市地場企業支援特別奨励補助金として、350万円が計上され、事業実施に必要な経費であり、妥当と認めました。

○志佐小学校屋内運動場改築検討業務委託費として、46万2千円計上され、事業実施に必要な経費であり、妥当と認めました。

県・県議会要望

6月2日長崎県庁において、市長、教育長、議長、地元選出県議会議員、総務委員会副委員長兼西九州自動車道及び道路網整備促進特別委員会委員長、文教厚生委員会副委員長、鷹島海底遺跡保存活用特別委員会委員長および関係課長出席のもと、長崎県知事および長崎県議会に対し、要望書を提出しました。



県知事要望

《重点要望項目》

- ① 鷹島神崎遺跡の保存と活用について《継続》
- ② 松浦火力発電所の安定的な稼働について《継続》
- 《要望項目》
- ③ 原子力防災対策について《継続》
- ④ 有害鳥獣対策の強化について《新規》
- ⑤ 水産物輸出拡大施設整備事業により再整備を行った松浦魚市場を核とする加工・物流拠点整備のための新たな用地確保について《継続》



県知事要望



県議会要望(副議長対応)

- ⑥ 伊万里湾における赤潮対策について《継続》
- ⑦ 松浦魚市場における水揚げ確保対策について《継続》
- ⑧ 電源三法交付金制度の見直しについて《継続》
- ⑨ 一般県道「喜内瀬鍋串辻線」における福島大橋の機能拡張及び福島大橋から福島港間の道路整備事業の早期着手について《継続》
- ⑩ 主要地方道「佐世保日野松浦線」における棕呂路トンネル(仮称)建設の早期着手について《継続》
- ⑪ 西九州自動車道の整備について《継続》



県議会要望(副議長対応)

以上、重点要望項目2件を含む11件について要望を行いました。

議員表彰

5月20日に東京都で開催された
全国市議会議長会第101回定期総会において、
左記の議員が表彰され、6月定例会で伝達されました。



勤続25年表彰

鈴木 靖之 議員



勤続20年表彰

武辺 鈴枝 議員



議会日誌

4月

10日～11日

◇長崎県市議会議長会定期総会

(大村市)

14日◇議会運営委員会

16日◇市議会だより編集委員会

24日◇九州市議会議長会定期総会

および理事会 (大分県)

28日◇全員協議会

5月

12日◇西九州自動車道建設促進期

成会定期総会 (伊万里市)

19日◇九州市議会議長会理事会

(東京都)

20日◇長崎県選出国會議員への

要望活動 (東京都)

◇全国市議会議長会定期総会

(東京都)

26日◇長崎新幹線・鉄道利用促進

協議会／長崎県空港活性化推

進協議会／長崎上海航路利用

促進協議会

(長崎市)

◇東彼杵道路建設促進期成会

定期総会 (佐世保市)

◇椋呂路・板山トンネル建設
促進期成会定期総会

(佐世保市)

27日◇全員協議会

29日～31日

◇長崎県松浦市・北海道福島町

・長野県木曾町親善友好提携

に係る首長・議長相互交流事

業及び木曾町制施行20周年

記念式典 (長野県)

6月

2日◇長崎県知事・長崎県議会議

長への要望活動 (長崎市)

6日◇議会運営委員会

17日◇市議会だより編集委員会



総務建設農水委員会

委員長	大橋 尚生
副委員長	和田 大介
委員	志水 周 神田 稔 崎田 廣美 椎山 賢治 宮本 啓史
所管	総務課、防災課、政策企画課、税務課、農林課、水産課、建設課、都市計画課、会計課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会、固定資産評価審査委員会および消防本部の所管に属する事務並びに他の委員会に属しない事務

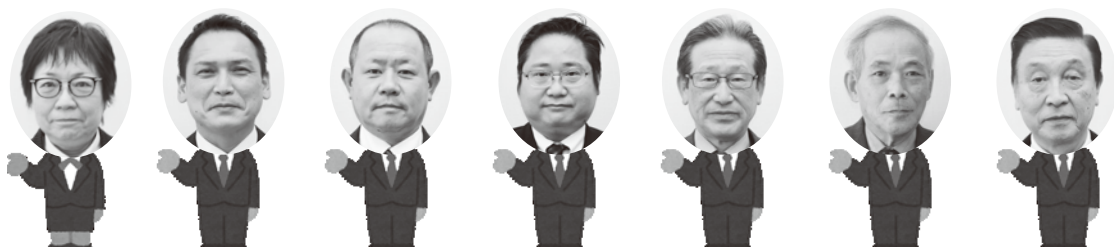


常任委員会の構成

3つの常任委員会が、2つに再編されました。

文教厚生産業委員会

委員長	武辺 鈴枝
副委員長	吉岡 健次
委員	金井田 秀規 川下 高広 徳田 詳吾 鈴立 靖幸 武部 周清
所管	市民生活課、健康ほけん課、長寿介護課、子育て・こども課、産業振興課、文化観光課、福島診療所、鷹島診療所、福祉事務所および教育委員会の所管に属する事務



議案等の審議結果

条 例	○松浦市税条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市奨学基金条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
予 算	◎令和7年度松浦市一般会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和7年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和7年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和7年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和7年度松浦市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和7年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和7年度松浦市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和7年度松浦市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	○令和7年度松浦市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
その他	※令和7年度松浦市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	○あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	可決（全員）
	○あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	可決（全員）
	※財産の取得について	可決（全員）

議案等の審議結果(つづき)

議員提出 案	※松浦市議会委員会条例の一部改正について	可決(全員)
請願	☐ ゆたかな学びの実現・教職員定数改善および義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について	継続審査

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査
○・・・総務建設農水委員会 □・・・文教厚生産業委員会

募集や応募に関する詳しい内容については、市議会ホームページの「まつうら市議会だより表紙写真募集要項」をご覧ください。
(松浦市公式ホームページ<https://www.city-matsuura.jp/> /
トップページ中段右「松浦市議会」→市議会だより)



インターネットでご覧になれない方は、議会事務局でも募集要項を配布しておりますので、0956-72-0264(直通)にお電話のうえご来庁ください。

あなたに映った松浦の魅力、
表紙で届けてみませんか？

表紙写真を募集します！

編集委員の つぶやき

今議会から常任委員会が2委員会となりました。引き続き市政推進のため、慎重に審議を行ってまいります。

さて、大雨が危ぶまれる季節となりました。2年前には線状降水帯により、今までに経験したことのない大雨が降り、市内各地において多くの被害が出ました。皆さまにおかれましては、避難所の確認や、県内で本市しか作成されていない新たな浸水想定区域を記載したハザードマップを見て、命を守る行動をとっていただきたいと思います。

今年度も、さまざまなスポーツの種目で好成績を収めている本市のアスリートたち！7月～8月にかけて九州大会、全国大会と開催されます。選手それぞれがベストパフォーマンスを出せるよう松浦から応援しています！

(市)

市議会だより編集委員会

委員長 武部 周清
副委員長 吉岡 健次
委員 和田 大介
委員 川下 高広